

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印		夫婦関係等調整調停申立書 事件名 ()	
		(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)	
収入印紙	円	(貼った印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手	円		

家庭裁判所 御中		申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
令和	年 月 日		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	準口頭
	☐ 戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要) ☐ (年金分割の申立てが含まれている場合) 年金分割のための情報通知書 ☐	

申立人	本籍(国籍)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)		
	住所	〒 () 方		
	フリガナ氏名	大正昭和 年 月 日生 (歳)		
相手方	本籍(国籍)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)		
	住所	〒 () 方		
	フリガナ氏名	大正昭和 年 月 日生 (歳)		
対象となる子	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成令和 年 月 日生 (歳)	
	フリガナ氏名	(歳)		
	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成令和 年 月 日生 (歳)	
	フリガナ氏名	(歳)		
	住所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成令和 年 月 日生 (歳)	
	フリガナ氏名	(歳)		

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、付随申立ての(1),(2)又は(3)を選択したときのみ記入してください。 □の部分には、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号（1又は2、付随申立てについては(1)～(7)）を○で囲んでください。
□の部分は、該当するものにチェックしてください。
☆ 付随申立ての(6)を選択したときは、年金分割のための情報通知書の写しをとり、別紙として添付してください（その写しも相手方に送付されます。）。

申 立 て の 趣 旨	
円 満 調 整	関 係 解 消
※ 1 申立人と相手方間の婚姻関係を円満に調整する。 2 申立人と相手方間の内縁関係を円満に調整する。	※ 1 申立人と相手方は離婚する。 2 申立人と相手方は内縁関係を解消する。 (付随申立て) (1) 未成年の子の親権者を次のように定める。 _____については父。 _____については母。 (2) (□申立人／□相手方)と未成年の子_____が面会交流する時期、方法などにつき定める。 (3) (□申立人／□相手方)は、子_____の養育費として、1人当たり毎月(□金_____円 / □相当額)を支払う。 (4) 相手方は、申立人に財産分与として、(□金_____円 / □相当額)を支払う。 (5) 相手方は、申立人に慰謝料として、(□金_____円 / □相当額)を支払う。 (6) 申立人と相手方との間の別紙年金分割のための情報通知書(☆)記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を、(□0.5 / □(_____))と定める。 (7)

申 立 て の 理 由	
同 居 ・ 別 居 の 時 期	
昭和 同居を始めた日…平成_____年_____月_____日 令和	昭和 別居をした日…平成_____年_____月_____日 令和
申 立 て の 動 機	
※当てはまる番号を○で囲み、そのうち最も重要と思うものに◎を付けてください。 1 性格があわない 2 異 性 関 係 3 暴力をふるう 4 酒を飲みすぎる 5 性的不調和 6 浪 費 す る 7 病 気 8 精神的に虐待する 9 家族をすててかえりみない 10 家族と折合いが悪い 11 同居に応じない 12 生活費を渡さない 13 そ の 他	

申立人照会書（夫婦関係調整）

この書類は、申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ、空欄に具体的に記入して、申立ての際に提出してください。

夫婦間でお子さんがある場合には、2枚目も記入してください。

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

1 夫婦が不和となっ たいきさつや調停を申 し立てた理由などを記 入してください。				
2 この問題でこれま でに家庭裁判所で調停 や審判を受けたことが ありますか。	☐ ある 平成・令和 年 月頃 家裁 支部 ・ 出張所 ☐ 今も続いている。 申立人の氏名 _____ 事件番号 平成・令和 年（家 ）第 _____ 号 ☐ すでに終わった。（結果： _____） ☐ ない			
3 調停で対立すると 思われることはどんな ことですか。（該当す るものに、チェックし てください。複数 可。）	☐ 離婚・内縁関係解消のこと ☐ 同居または別居のこと ☐ 子どものこと（ ☐ 親権 ☐ 養育費 ☐ 面会交流 ☐ その他 _____） ☐ 財産分与の額 ☐ 慰謝料の額 ☐ 負債（ローンなど）のこと ☐ 生活費のこと ☐ その他（ _____）			
4 それぞれの同居し ている家族について記 入してください（本人 を除く。）。	申立人（あなた）			
	氏 名	年齢	続柄	職業等
※申立人と相手方が同居中 の場合は申立人欄に記入して ください。				
5 それぞれの職業や 収入について記入して ください。	職業 ☐ 会社員 ☐ パート・アルバイト ☐ 自営業 ☐ 無職		職業 ☐ 会社員 ☐ パート・アルバイト ☐ 自営業 ☐ 無職	
	月収（手取り） 約 _____ 万円 賞与（年 回）計約 _____ 万円 ☐ 実家等の援助を受けている。月 _____ 万円 ☐ 生活保護等を受けている。 月 _____ 万円			月収（手取り） 約 _____ 万円 賞与（年 回）計約 _____ 万円 ☐ 実家等の援助を受けている。月 _____ 万円 ☐ 生活保護等を受けている。 月 _____ 万円
6 住居の状況につい て記入してください。	☐ 自宅 ☐ 当事者以外の家族所有 ☐ 賃貸（賃料月額 _____ 円） ☐ その他（ _____ ）		☐ 自宅 ☐ 当事者以外の家族所有 ☐ 賃貸（賃料月額 _____ 円） ☐ その他（ _____ ）	
7 財産の状況につい て記入してください。	(1) 資産 ☐ あり ☐ 土地 ☐ 建物 ☐ 預貯金（約 _____ 万円） ☐ その他 ※具体的にお書きください。 （ _____ ） ☐ なし		(1) 資産 ☐ あり ☐ 土地 ☐ 建物 ☐ 預貯金（約 _____ 万円） ☐ その他 ※具体的にお書きください。 （ _____ ） ☐ なし	
	(2) 負債 ☐ あり ☐ 住宅ローン（約 _____ 万円） ☐ その他（約 _____ 万円） ☐ なし		(2) 負債 ☐ あり ☐ 住宅ローン（約 _____ 万円） ☐ その他（約 _____ 万円） ☐ なし	

令和 年 月 日 申立人 _____ 印

※ 夫婦間でお子さんがある場合は、2枚目も記入してください。

この書類は、申立人と相手方との間に未成年のお子さんがいる場合に記載していただくものです。
 あてはまる事項にチェックをつけ、空欄に具体的に記入して、申立ての際に提出してください。
なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

8 現在、お子さんを主に監護している人は誰ですか。	☐ 申立人 ☐ 相手方 ☐ その他（ ）
9 別居している場合、別居後のお子さんの監護の状況について記入してください。 * お子さんと申立人及び相手方が同居している場合には記載する必要はありません。	平成・令和____年____月____日から平成・令和____年____月____日まで ☐ 申立人 ☐ 相手方 ☐ その他（ ） が監護していた。 平成・令和____年____月____日から現在まで ☐ 申立人 ☐ 相手方 ☐ その他（ ） が監護している。
10 お子さんと別居している父または母との関係について、記入してください。 * お子さんと申立人及び相手方が同居している場合には記載する必要はありません。	☐ 別居している父または母と会っている。 （____か月に____回程度） ☐ 別居している父または母と会っていないが、電話やメールなどで連絡を取っている。 （____か月に____回程度） ☐ 別居している父または母と会っていないし、連絡も取っていない。 （平成・令和____年____月頃から） → その理由があれば記載してください。
* おおむね13才以上のお子さんについて伺います。 11 お子さんに対して、離婚等について裁判所で話し合いを始めることや、今後の生活について説明したことはありますか。	☐ 説明したことはない。 ☐ 説明したことがある。 → 説明した内容やそのときのお子さんの様子について、よろしければ記載してください。
12 お子さんについて、何か心配していることはありますか。	☐ ない ☐ ある → 心配している内容を具体的に記載してください。
13 お子さんに関することで裁判所に要望があれば記入してください。	

【注意】 この書面は、調停等の準備手続のための連絡表です。相手方にお見せすることはありません。

進行に関する連絡表（申立人用）

この書面は、調停等を円滑に進めるために参考とするものです。下記の事項に回答の上、ご提出ください。

1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	☐ ある（その時の相手方の様子をチェックしてください。） ☐ 感情的で話し合えなかった。 ☐ 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 ☐ 態度がはっきりしなかった。 ☐ その他（ ） ☐ ない（その理由をチェックしてください。） ☐ 全く話し合いに応じないから。 ☐ 話し合っても無駄だと思ったから。 ☐ その他（ ）
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	☐ 応じると思う。 ☐ 応じないと思う。 ☐ 分からない。 (理由等があれば、記載してください。)
3 第1回期日の開始時に、相手方と同席で、調停手続に関する説明を受ける（10分程度）ことについて、どう思いますか。	☐ 問題ないと思う。 ☐ 難しいと思う。（以下からあてはまる理由を選んでください。） ☐ 相手方からの暴力等がある。（6に詳細を記載してください。） ☐ 現在精神科又は心療内科に定期的に受診している。または、過去6か月以内に定期的な受診をしていた。 ☐ その他（理由を詳細に書いてください。）
4 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	☐ 進められると思う。 ☐ 進められないと思う。 ☐ 分からない。 (理由等があれば、記載してください。)
5 この申立てをするのを相手方に伝えてありますか。	☐ 伝えた。 ☐ 伝えていない。 ☐ すぐ知らせる。 ☐ 自分からは知らせるつもりはない。 ☐ 自分からは知らせにくい。

6 相手方に暴力等がある場合には、記入してください。	1 相手方の暴力等はどのような内容ですか。 ☐ 大声で怒鳴る・暴言をはく。 ☐ 物を投げる。 ☐ 殴る・蹴る。 ☐ 凶器を持ち出す。 ☐ 子供に対して暴力をふるう。 ☐ 子どもの目の前でも暴力をふるう。 (1) それはいつ頃のことですか。 _____ 頃 から _____ 頃 まで (2) 頻度はどのくらいですか。 _____ 回 2 あなたに対する相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 ☐ ない ☐ ある（ケガや症状等の程度 _____） 3 配偶者暴力に関する保護命令について、該当するものをチェックしてください。 ☐ 申し立てる予定はない。 ☐ 申し立てる予定である。 ☐ 申し立てたが、まだ結論はでていない。 ☐ 申し立てたが、認められなかった。 ☐ 認められた。 ※保護命令書の写しを提出してください... 4 相手方の調停時の対応について ☐ 裁判所内であれば暴力の心配はない。 ☐ 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 ☐ 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるう心配がある。 ☐ 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 ☐ 裁判所に刃物を持ってくるおそれがある。 ☐ 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。 ☐ その他（ _____ ）
7 期日に関する希望を記入してください。（複数回答可） ※相手方の都合も分かればそれを反映させてお答えください。	☐ 特になし（いつでも良い。） ☐ 曜日の希望あり （ 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 が都合良い。） ※ できるだけ複数記載してください。 ☐ 午前・午後の希望あり （ 午前が良い。 午後が良い。 ） ※9:30開始予定 ※13:30開始予定 ☐ この日は都合が悪い （ _____ ）
8 裁判所に配慮を求めることがありますか(体調面等)。	
令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 氏 名： _____ 電話番号： _____ — _____ 自宅の場合、☐ 裁判所と名乗っても構わない。 ☐ 裁判所と名乗らないでほしい。 相手方の電話番号（わかる範囲で記載してください）： _____ — _____	

令和

年(家イ)第

号

送達場所の届出書

★記名押印のうえ、太枠内部を記載（該当する□にチェック）してください。

令和

年

月

日

氏名

印

以下の(1)(2)のいずれかに記載してください。届け出た場所で送達ができなかった場合、あなたに書類が現実に届かないまま手続が進行する可能性がありますので、届出場所は慎重に選んでください。

(1) 送達場所は、申立書・秘匿事項届出書面記載の住所でよい。 □はい

(2) それ以外の送達場所を指定する（以下に記入してください。）。

〒

—

この送達場所は

☐ 現住所・居所

☐ 自分が住んでいない住所→受け取ってくれる人を下の送達受取人欄に必ず記載してください。
(送達受取人：)

☐ 勤務先（勤務先名：)

(注意) 届出場所が変更になった場合、変更の届出をしないと、変更前の届出場所に郵便が送られ、送達が完了したことになる場合がありますので、必ず「送達場所の変更届出書」を提出してください。

上記記載のうち、他方当事者等に知られることで、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障が生じるおそれがあるような情報がありますか。

☐ ありません。→記載終了です。

☐ あります。 →下記のとおり非開示希望の申出をします。

他方当事者等に知られることで上記支障が生じるおそれがあるという部分は、マーカーで色付けした部分です。

非開示希望の申出書

上記送達場所の届出書に記載した内容のうち、マーカーで色付けした部分については、他方当事者に非開示とすることを希望します。

非開示を希望する理由（□にチェックし、その理由を具体的に記載してください。）

☐ 事件の関係人である未成年者の利益を害するおそれがある

☐ 当事者若しくは第三者の私生活若しくは業務の平穩を害するおそれがある

☐ 当事者若しくは第三者の私生活についての重大な秘密が明かされることにより、その者が社会生活を営むのに著しい支障を生じ、若しくはその者の名誉を著しく害するおそれがある

(具体的な理由)

非開示希望申出書

【1】別添の書類について、非開示を希望します。

（次のいずれかにチェックを入れてください。）

- ☐ 一部（マーカー等で色付けした部分） ☐ 全部

【2】非開示を希望する理由は、以下のとおりです

（該当項目にチェックを入れてください。）

- ☐ 子供（未成年者）の利益を害するおそれがある。
- ☐ 自分や第三者の私生活や仕事の平穩を害するおそれがある。
- ☐ 自分や第三者の私生活上の重大な秘密が明らかにされることにより、社会生活を営むのに著しい支障を生じたり、名誉を著しく害するおそれがある。
- ☐ その他、特別の事情がある。

【3】上記【2】の具体的な理由は以下のとおりです。

他方当事者に非開示を希望する情報を知られることにより、

- ☐ 他方当事者が押しかけてくるおそれがある。
- ☐ 他方当事者に付きまといられるおそれがある。
- ☐ 電話を頻繁にしてくるおそれがある。
- ☐ その他（上記にあてはまらない場合は、下記に記載する）

令和 年 月 日

氏名 _____ 印

* 裁判所に書面を提出する場合には、まず、他方当事者に知られたくないことは書かないか、または、非開示希望部分をマスキングして提出することを検討してください。

* 他方当事者に非開示を希望する情報が記載された書類をマスキングせずに提出しなければならない場合に、本書面を同書類の上にステープラー（ホチキスなど）で留め、一体化した状態で提出してください（非開示希望部分をマスキングして提出する場合、本書面は不要です。）

* 非開示を希望する書類に本書面が一体として添付されていない場合は、非開示希望がないものとして取り扱われます。

* 裁判所は、上記【2】【3】の記載内容を参考に、開示の可否を判断しますが、非開示を希望しても、裁判官の判断により、他方当事者へ開示される場合があります。

* 本書面自体も閲覧やコピーの対象となりますので、本書面には、非開示を希望する情報を直接記載しないようにしてください。

別添の書類と一緒にステープラー（ホチキス）で留める